

冬到来特集

豪快に釣るか。繊細に釣るか。

13 NEO-HERA PRO LEAGUE 2006総合チャンプ戸井田祐一が仕掛ける、超豪快バラグル!!
23 関西が生んだ「粘り」のトップトーナメント上村恭生が魅せる、超繊細ウドンセット!!

- 30 **G杯争奪全日本へら鮒釣り選手権** 鬼怒川大自然
- 34 **《新企画》斉藤心也 炎のチョーチン12番対決!!**
《第1戦》vs鳥内正道in筑波流源湖
- 42 **石井旭舟 へらぶな浪漫街道**
《第四十八回》千葉県 三島湖
- 49 **小池忠教 K'S FORM & STYLE**
《Vol.11》両ダンゴ終焉、そして両グル 鎌北湖
- 55 **中澤岳 フィールド真っ向勝負**
《Vol.12》仮想本番想定試釣。 三国池
- ★**AREA REPORT**
- 60,66 横利根川(千葉県・茨城県) 本誌・伊藤洋一
- 62,68 桜ヶ池(富山県) 山本一朗
- 63,69,71 三川フィッシュパーク(岐阜県、四力所の新堀 後藤 誠、河口正伸
- 64,70 児島湖・秀天付近(岡山県) 前田誠志
- 134 **フォーカス愛用者釣大会** 狭山HC
- 137 **棚網 久の我流**
《第十一回》メーターセットの待ちバラケ! FA吉羽園
- 143 **杉山達也のSUPER SPLASH!**
《ROUND.12》新旧混在攻略 三和新池
- 148 **戸張 誠 関べら戦記**
《第十一回》11月最終例会 三島・豊英湖 “誇り”

- 152 **吉川ひとみのあっち こっち そっち♡**
《Vol.11》ひとピー、霧深き田吾作へ!!
ショップ:アングラースプラザ岸浪 北福島店 釣り場:つり堀 田吾作
- 156 **《新企画》稲毛利夫 崖っぷち釣行!**
《第1回》もう帰って来た稲毛師匠!? 栗谷沢ダム(栃木県宇都宮市)
- 160 **竿春会4会合同懇親会** 清遊湖
- 193 **《新企画》釣り味**
《第1回》へら鮒管理釣り場 三国池の【鯉井】
- 195 **岡田 清 Deep Side Angle**
《Vol.37》【ルーツ】 富里乃堰(千葉県)
- 201 **伊田釣具店「夢坊」独創展懇親釣り会** 浜野HC
- 202 **北川穂積 西の交友録**
《第13回》ゲスト:浦 芳一 釣り場:王仁公園新池(大阪府)
- 205 **ダン・へら名人クラブ対抗ヘアへら鮒釣り大会** 羽生吉沼
- 206 **釣果予想クイズ**
- 208 **フィッシングレディ**
《今月のレディ》須賀綾子さん 谷養魚場へら池

釣り場割引クーポン券

- p.165~
- 野田幸手園 椎の木湖
 - 清遊湖 谷和原大沼
 - 上尾園 F.A吉羽園
 - 谷養魚場 将監
 - 柳生F.P 筑波白水湖
 - 泉堰 逆井HC
 - 友部湯崎湖
 - 三和新池 狭山HC
 - 新座LC 川越FC
 - 府中HC 芦田湖水光園
 - 鳥羽井沼 大上へら池
 - 霧の沼 小川つり堀園
 - 清川つくしFC
 - 千代田湖・舟宿 千和
 - 西湖・釣舟 白根
 - 西湖・釣り宿 丸美
 - 西湖・釣り宿 青木ヶ原
 - 相模湖・釣舟 五宝亭
 - 相模湖・釣舟 天狗岩
 - 吉森HC
 - 甲南へらの池 当麻池
 - 水藻FC 朝日池
 - NEW!**釣り堀八十八

「竹とともに生きる。」は誌面の都合でお休みさせていただきます

- 76 **へら鮒釣り 超基本講座【ウドン作り編】**
《第25回》ウドン作りの基本
- 81 **椎の木湖フレンドシップ選手権**
- 85 **ガチンコ道場**
《第13回》セットマイスター天笠 充氏登場&ダイワへらマスタース関東ブロック大会
- 91 **都祭義晃 カリスマ伝説2007**
《Vol.13》G杯争奪全日本へら鮒釣り選手権 鬼怒川大自然
- 99 **江成公隆のトーナメント、復活への道。**
《Vol.55》フレンドシップ選手権
- 106 **《新企画》夢追釣人(ゆめおっもの) 天野正由**
今月の夢・密かなる企み(その1) 奥多摩湖&相模川
- 110 **水辺のプラネタリウム 吉本亜士**
《今月の星空》「船岡温泉」
- 114 **最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ**
《第四十七話》激走! ツール・ド・イバラギ 5時間01分の拷問
- 119 **《新企画》へら鮒を三枚に下ろす 西田美明**
《第1回》「パワーフィッシング」の巻

- 122 **《新企画》釣れてまっか〜? 釣らせてくださいっ! 南元彦**
《第1回》甲南へらの池
- 124 **《新企画》水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト**
《第1回》「〇〇の行方」
- 126 **野田幸手園新聞**
- 161 **ワクワク管理釣り場情報**
- 170 **小売店情報**
- ★**へら鮒BOX**
- 175 里ちゃんの新米編集長雑記
- 176 情報発信基地
- 178 ボイス
- 186 **日研 団体トーナメント決勝戦 横利根川**
- 187 コラム「日研だより」 日研広報部長・遠藤克己
- 188 **《新企画》コラム『上村流!』 上村恭生**
- 189 コラム「紀州“想いの竹”のものがたり」 中峯伸行
- 190 プレゼント発表
- 191 広告索引
- 192 編集後記

STAFF

- 発行人
根本百合子
- 編集長
田中里史
- 編集部
大場勝良
諸富一秋
伊藤小百合
伊藤洋一
- インターネット事業部
高田 準
八十田昌広
- 企画
〈オフィス・えふ〉
藤原 肇

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の

トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画！—いよいよ再挑戦！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

「一歩進んで二歩下がる!?!」

〈Vol.55〉

フレンドシップ



10月28日(土)、椎の木湖フレンドシップ選手権に出場したナリーズ。そして、なぜかスーツで駐車場に登場した会長の江成アニキは、違う意味で1番目立っていた。何やってんじやい!

いよいよ限界かな、と感じている。何かというと、江成の執筆だ。現在、11月25日(土)…って、相変わらず「締め切り前日に執筆」なんて本文中で書いてるけど、ホントの「締め切り」なんてとっくに過ぎてるわけで、これをホントの締め切りだと捉えられては困るのだ…ああ、もうこれも書き飽きた。今までは、さんざん「書けない書けない(打てない)」と電話で泣きを入れてきても、結局はこちらがカットするくらい書いてきたアニキだったが、最近は違う。ホントに書いてきやがらねえ…。で、「あとは里ちんヨロシク♡」である。もう冗談では済まされないとこまできている。さらに、次号(というか、明日!)には、ちょっとしたイベントが控えているというのに、当の本人は上の空。お仕事が忙しいらしいが、みんな忙しいっっちゃうねん!

それでは、江成さんのブログ、どうぞ…。

by里ちん

このままいくとただのブログ調になってしまったので、釣りの話もちょっと書いておこう。先月末に、椎の木湖主催のフレンドシップ選手権に参加した。先月号で予告した通り。大会は4名1組で競う。ナリーズからは、須崎副会長・平山幹事長・里ちん総務主任(?)、そして僕の4名で参加する予定だったが、須崎氏にアクシデントがあって、新会員の保科氏にピンチヒッターをお願いすることになった。保科氏といえば、先月号で「新・愛称」として勝手にホッシーと命名した僕だが、昔

フレンドシップ。

ウチの親父がよく使ってたけど、「グロッキー」って死語だな…と、いきなりワケの分からない話から入ってみた。いや、もうホントにキツいや。毎月毎月、締め切り前日の執筆とは書いていけるけれど、いくらかナリーズが浮かんでいてのハナシのわけですよ。もちろん今回だってネタ的にはコレを書こうかなってのは、漠然とはあったわけですが、フレーズとしてはゼロ。しかもメチャメチャに眠い。最悪。追い込まれてのハイテンションでいつも一気に書いているというのに、この眠さはマジでヤバイ。明日も仕事だし。背もたれに思いきりよりかかって対峙している愛機PowerBook2400は、さすがに不満らしくさつきからタイプミスの連発。っていうか実際問題、手のデカイ僕に、コイツのキーボードは小さいんですよ。無理矢理コンパクトに作ってあるので。…っていうか今寝てたし。目が覚めて朝でなくて良かった…。

グロッキー。

からそう呼ばれていたそうである。チャンピオン。ま、自然な愛称だし、人の考えることは似たり寄ったりということだ。ブログに書いたネタで、「マクドナルドをマックと呼びはじめたのはオシだと、百万人が思っている」というようなことを書いたこともあるが、まさにそれ。

で、この大会の面白いところは、1時間おきに途中経過をアナウンスするところだ。平山幹事長の妄想では、「1位ナリーズ」を全ての時間帯で聞く、ということだったが、現実には厳しかった(あたりまえだ)。しかし、全ての時間帯で上位チームとして名前を呼ばれた。これは嬉しかった。平山幹事長には悪いが、僕の目標はそこにあっただけから。最高は9位だったと思うけど、昼休みに「フォーラム使者」、あのドリームチームから、「打倒ナリーズ」の声が掛かっただけでも良いでしょう。後半、ウチとフォーラムはずっと接戦だったのだ!

チーム対抗戦が面白いのは、最後まで気を抜けないところだ。どんなに自分がボケていても、仲間がイレバクを演じていれば、なんとかなるかもしれない。となると、「コレ以上、傷を深くできない」ことになるから、必死でボケから脱出するよう気合が入る。つまりクサって投げげる必要がないどころか、やる気が持続する競技なのだ。マルキューのクラブ対抗もそう。10年前に、大竹君と小川先輩と組んで出た時は燃えた。あの頃は、今思えばやっぱりトングがっていたから、「ふまつげん」のモニター2名がいるチームが、マルキューの主催する大会に出るというだけで興奮していた。懐かしい思い出である。

フレンドシップの前日は朝から会議で、その後は飲み会。椎の木に向かう時は飲酒運転だったんじゃないの?と思われる方もいらっしゃると思うが、心配無用。会議場へは職場

から公共の交通機関で参加し、量はほどほどに抑え、タクシードで職場まで帰った。すでに釣り道具一式を積み込み済みのマイカーで仮眠しようと思ったが、店のナンバー2が、僕の代わりにまだ仕事をしていた。それなりに酔っていた僕は、頭が働かないので、仕事をバトンタッチするわけにもいかない。かといって「じゃ」といって寝るワケにもいかず、横で猛烈な睡眠と戦う。結局2時頃まで付き合い、部下が帰ったあと、すぐに1時間ほど仮眠。もう少し寝ていても良かったが、遅刻がコワイ僕は出発した。もちろん職場に常備のアルコルチェッカーで反応がないことを確認してのことだ。

大会当日の朝、僕がスーツ姿でウロウロしていたのは、そんなワケなのだが、「面白いからその恰好で釣りしてください」と、里ちゃんからのリクエスト。

「おっじゃあ表紙か?」
悪ノリしやすい僕はもちろん、二つ返事でオーケーだったが、ある方からクレームが入り、ちゃんと準備してあった服に着替えた。まさに「ゴッゴッ」ってのは大事です。お?睡眠が峠を超えましたね。ここから一気に書き上げたいと思います!



平山幹事長、ホッシーを従え、スーツで受け付けを済ませる礼儀正しいアニキである…。「サッカーを見てみる。監督はフィールドでもスーツが常識だろ?」一生やってる!

ナチムラル・ハイ。

「仕事のこともう書かない」と、前回書いたが、さっそく撤回。「職場のこと」には、「あまり」触れないようにするが、「お仕事」についてはまだ書いてみたい。

僕は短期間で軽度ではあるが、以前「うつ」を患っている。そのとき処方していただいたクスリのパワーに驚かされたという話は、この連載当初に里ちゃんが書いてくれた。脳内物質であるドーパミンの量をコントロールすることで、物理的にというか強制的に元気にしてしまうのがクスリの役目だ。つまりドーピング。あの時の記憶は今でも褪せることはない。そして、最近の僕は特によく思い出す。なぜなら、あの頃と今とが、あまりにも似ているからである。まず、特に何も無いのに無駄に?沸き起こる高揚感。とにかく楽しい気持ち。次に、ひたすら思い付くダジャレ。なんだか脳味噌が常にフル回転しているような感じ。車のアイドリングで言えば、強制的に回転を上げるツマミをグイッと捻ったような感じだ。当然ながら、エンジンなら負担増になるわけで、人にとっても長い目で見ていいことはないだろう。お父さんは命削って働いています(笑)。

「好きなことを仕事に出来た人以外の人にとって、仕事とは、時間の切り売り」と捉えていた以前の僕にとっては、「仕事にハマる」人の気持ちや全く理解出来ないう。仕事とは、労働力を提供して対価を得るだけのために単なる「契約」であり、そこに面白さや生き甲斐を求める方が間違っていると考え感じていた時期もあった。自分らには職場以外で求めれば良いのだ、と。とはいえ長い時間を「耐える」だけで過ごすのはホントにキツ

いから、心から好きでやっている仕事ではないにしても、ちょっとくらいは「何か」を探すのも悪くないと思っていた。それが販売商品の社会的意義であったり、お客とのふれあいであったり、事務の女の子であったり、人によって様々な拠り所があるだろう。

「事務の女の子」は、マスイな。隣の店ではかなり厄介なことになっているようだし、職場の人間関係には気を付けたい。人間関係といえば、タイムカードの件で自分の立場を貫き通してすったもんだしたのは以前にも書いたが、店長になる前の僕は、職場ではマイペースというか一匹狼的なところがあった。他人の目は気にしなくても仲間意識はあまり強いとまでは言えなかった。現在の僕は、家にいるより長い時間過ごす職場での人間関係、つまりチームワークを第一に考え行動するようになった。人は変わるものだ。で、じゃあ自分の現在の職場での拠り所が「和気あいあい」だと言いたいのかといえば、そんなこともない。ならば、出世街道に乗ったという思い込み?それも違う。おそらく僕がハマっているのは、体力の限界に怯えながらも、日々こなしていく膨大な仕事量なのだ。「宿題なんか誰もやらねーじゃねーか!」と吠えてしまったから、泣きながらやっているわけではない。そんなものは、プレッシャーにも感じていない。宿題の量はここへ来て減ったように感じるし、適当にあしらう術も身に付けた今となつては、全く問題ない。ルーチン。そしてブラスアルファ。仕事は自分で作るものであり、決して減ることはないのだ。…なんて書くとも、もの凄くヤル気があるように見えて、同じ職場にいたら「チョーマジ、イヤなヤツ」だし、「おいおい、江成ダイジョブか?」っていうことにもなってくるだろう。ハイ、ダイジョブじゃないかも(笑)。

「優等生として認められたい」・「誉めら

れて嬉しい」という気持ちは通過点として確かにあった。それらを目的とした仕事を日々こなすうち、目的よりもこなすことの方が楽しくなってしまったところに問題がある気がする。ゲームでいえば、「オレは○○面までクリアしたぜ！」って感じか。ゴールに辿り着くという本来の目的よりも、途中経過でしかない量を自慢する気持ち。もちろんゲームなら、途中経過の量はゴールへ早く到達する鍵となるから、「本来の目的」を忘れたとは言えない。けれども、ゴールした瞬間の虚しさは、誰しも経験があるのではないか。お仕事には、そういうゴールはない。だからいくらでも量を楽しめる。出世には、会社のトップというゴールがあるにはあるが、それはあまりにも非現実的だし、どこまで上げられるかは分からない。だからやはりいつまでも楽しめる。「仕事が楽しい」人はこういうことなんじゃないのか。で、ひたすら楽しんできて、ハツと気が付くと定年というゴールの存在が目前にある。これは絶望的な事件だろう。退職後もスーツを着て通勤？してしまう人のことを、以前の僕は全く理解出来なかったが、今は分かる気がする。ただし、僕はやはり大丈夫だ。僕にはいつでも帰れる場所がある。それはもちろん、へら鮎釣りだ。

ファイティング・メモ。

僕はメモ魔である。天笠氏の取材では、「宇宙人と交信したかのようなイラスト」と里ちに紹介されたが、あれは話に夢中になってしまったからこそ例外であって、基本的に僕はメモをとる。字が汚く、何語で書いてあるのか本人にも分からないという意味では、里ちんの宇宙人云々はあながち間違いでないが、自分では江成式速記だと自負？している。



毎年大人気の椎の木湖フレンドシップ選手権。1時間毎にチーム順位が放送されて、確かに面白い！そして、この賞品の山を見よ！これを見て、ホッシーが「ホッシー！」と言ったとか言わなかったとか…

る。

自分探しの十代、思い付いたことを片っ端からメモった。常にペンとメモ帳を持ち歩かなければ怖かったし、万が一忘れて外出しようものならコンビニのレジの裏でもタバコの封かん紙（未成年ですが）でもどこにでも書いた。ある時、街頭で配られるポケットティッシュがなくて、同封の広告の裏に書き尽くしたのち、ティッシュペーパーそのものに書こうとして難儀した記憶があるが、どう考えてもあの時代は病気だった。溜め込んで一度も整理されることのないまま、結婚と同時に捨ててしまったが、きつと現在の原稿書きに役立っているのだと信じている。

へら釣りを再開した二十歳前後、冷めていたメモ熱は復活。新しいことを学べばメモが増えるのは当然。この時のメモは整理こそしなかったが、何度も読み返して有効に活用した。やはり結婚と同時に廃棄。

その後はキョーレツなメモ魔ではなかったと思うが、最近になって急激に増加中。ただ今回が以前と違うのは、日々の整理が必須ということだ。スケジュール管理も必要になり、パソコンを使得いだしてからほとんど使わなくなったいたシステム手帳を引っぱりだしてきた。

常にノートパソコンを持ち歩いている僕だが、パソコンは立ち上がるまでに時間がかかるのがネック。最近はずばらアナログ回帰。原稿のとき以外はマイメモのあまり触らなくなった。というより触る時間もない。メールチェックも滞っている。ブログを更新する時間もコメントにレスつける時間もない。会社のウィンドウズXpにも違和感はありません。感じなくなってきたと悲しいが、親しい友人達には職場でのメアドを覚えておかなければいけない、と感じている今日この頃である。

「浅ダナスタイル・ワイドプラス」

杉山作

	トップ	羽根	カーブ径
七番	10	7	7.5
八番	11	8	7.5
九番	12	9	7.5
十番	13	10	7.5

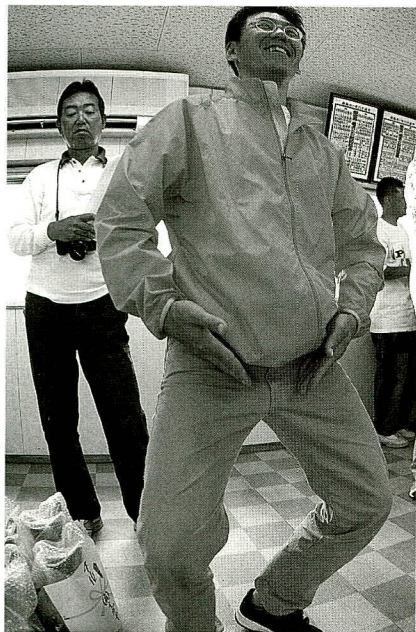
単位：センチ
※トップは内径1mmバイブトップ
ボディは5.5mm径一本取り
1本¥6,300（税別）

発表以来、絶大な支持を得ている「浅ダナスタイル・ワイド」のビッグサイズ版、登場。

バランスはそのままに、サイズ、ボディ、トップにボリュームをプラス！

取り扱い店〈五十音順〉

埼玉・越谷 かわせみ (☎048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具 (☎0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館 (☎03-3499-5025)
埼玉・入間 へらの三水 (☎042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその (☎0285-72-2215) 神奈川・川崎 鮎仙人 (☎044-287-7470)
東京・吉祥寺 丸勝 (☎0422-22-8923) 東京・青梅 吉川釣具店 (☎0428-22-2467)



江成会長、成績発表が楽しみで待ちきれず、思わずコマネチ、の図。後ろの方は週刊へらニュースの記者さんです。大変失礼致しました…



ナリーズ、弁当を食べながら作戦会議、の図。
エース・ホッシー、まさかの絶不調。これはナリーズの呪いだ！

ナリーズ、堂々11位！ 持ちきれないほどの賞品ゲット！
江成会長、一番釣れなかったホッシーをこき使う、の図。ナリーズの縦社会は厳しいのだ…

NARIES 総合成績

順位	選手名	例会参加	重量kg
1	平山奥様	3	72.85
2	須崎副会長	3	69.45
3	里ちゃん	3	66.35
4	江成会長	3	56.52
5	平山幹事長	3	53.35
6	保科健二	2	32.05

例会を兼ねたフレンドシップ選手権。ナリーズは合計67.36kgで、フォーラム侠に次ぐ第11位！ 個人釣果の内訳は、里ちゃん28.75kg、江成会長15.02kg、平山幹事長12.55kg、ホッシー11.05kg。会長のご厚意？により、フレンドシップ参加4名以外には最高釣果がプレゼント（つまり里ちゃんの釣果！）。でもって、平山奥様は他チームとして出て大スツコケしたものの、このルールにより年間1位を独走！ …って、どんなルールじゃい！



平山幹事長と里ちゃんがとんでもないものを企画したらしい。僕は準備にはいっさい参加していないので、当日までのお楽しみ。次号はその記事になるでしょう。もちろんライターは里ちゃん。江成は無理だと思いません…。

ナリーズ杯？

現在、勤め先に中途入社。似たようなもんだ。そして、期間社員を集める立場にまわり、出張で忙しかった親父。僕も小さい頃、青森まで連れて行かれた記憶がある。そして今年の僕は、年末アルバイト応募者の面接を担当している。なんとも不思議な気分である。

今さらになって「今月の原稿っていったい何？」と感じてきたが、もう遅い。トドメの一発…。

「子供は親の背中を見て育つ」とよく言っけれど、生き方、考え方についての話だと思っていた。ところが、思考回路が同じだと、結果として行動も「ほとんど同じ」になるのだと最近つくづく感じる。例えば悪い面で言えば、虐待された子は、親になったら、やはり自分の子を虐待するとか。女癖が悪く家庭を顧みなかった父親を憎み、「オレは幸せな家庭を作る」と公言していたO君も、運命を断ち切ることは出来なかった。僕の場合、ウチの親父は勤め先では最終的には労組関係に進んだ。僕は末端の連絡員だけど、気付いたら労組の仕事もしている。夢やぶれ、どうにもメシが食えずに期間社員の募集で中途で入社した親父。失業し、その1年後にへら耐社に入社できるハズだった僕は、腰かけのつもりで現在の勤め先に中途入社。似たようなもんだ。

繰り返す歴史。

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

- 1.ぐりへの釣会
- 2.ぐりへの釣会
- 3.ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます（無料）

お問い合わせご注文はお早めに！

取扱店：柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店：

柴舟（東京都江戸川区）

03-3613-2727

佐伯釣具店（神奈川県川崎市）

044-911-3722

SANSUI川づり館（東京都渋谷区）

03-3499-5025

フィッシング中原（神奈川県川崎市）

044-711-8266

鮒仙人（神奈川県川崎市）

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとりえぐり

http://www.office27.com
E-mail:info@office27.com

それでは里ちゃん殿、あとはヨロシク♡
じゃー

以下、里ちゃん執筆

…と、こういうわけである。全く何を考えていらっしやるのやら…。それに、「もろろんライターは里ちゃん」で、その責任感のなさって、いったいなんなんですか…。

アニキが言及しているとおり、明日（11月26日）はナリーズ主催の、ちょっとしたイベントというか大会を開催するんですよ。来月はその模様をお伝えします。ちなみに、僕は何もやってません。ナリーズ会員でもありませんし…。平山幹事長が走り回り、とんでもないメンツを揃えちゃったらしいんです。スポンサー（協賛賞品）まで強引に頼んじやったらしくて、恐縮です…。で、「要項考えてFAXしたから清書してよー」だって。締め切り直前でそれどころじゃないの…。というわけで、下に触りをご紹介致します。参加メンバーは、来月のお楽しみ、ということと。

連日の徹夜明けで迎える明日、果たして里は最後まで立っていられるのでしょうか？
つつつか、正直言っちゃ寝たいぞ…！

「2位はもらない」



ナリーズ杯争奪「裏ジャパンカップ」~~ウドンセット王座決定戦~~

●主催 ナリーズ ●日時 11月26日 ●会場 千葉県・富里乃郷

小誌名物コーナー(!?)「江成公隆:トーナメント復活への道。」にて突然変異的に誕生(事故?)した釣り会、それが「NARIES(ナリーズ)」である。ちなみに、例会は不定期開催(いい加減!)。

アニキめ、だいたい原稿もまともに締め切りに送ってこないクセに、何か会だ…。正直、里はそう思った。さらに、あろうことか田辺哲男さんのブランド「NORIES(ノリーズ)」とエナリのナリを引っ掛けたダジャレ全開の安易なネーミングと、ロゴまで勝手にバクった違法行為。そして、激怒した田辺さんと、ロゴの権利を持つマルキューへのフォローだけは里の役目…。

しかし、暴走を始めた男達は、もう止まらない。誰が言ったか…、

「11月の例会はウドンセットの練習でしょうよお。そんでもって、みんなを呼んで大人数で懇親会的にパーっとやろうよお。ついでに来た人みんなに賞品持ち寄ってもらてさあ、そんでもって強制的にナリーズ入会にしてさあ! そんなわけで里ちゃん、パンフ作成と釣り場予約は頼んだから♡」

企画は勝手に進行していき、また、訳も分らず人も集められ、そして、面倒なことは全部里に押し付けられたのであった…(まったくクソ忙しいのに何だってんだよ!)

「ナリーズ杯争奪「裏ジャパンカップ」ウドンセット王座決定戦」

訳が分からん…。だいたい、「ナリーズ杯」ってえのに「裏ジャパンカップ」って、「カップ」が二つじゃねえかよ! それに、「ウドンセット王座決定戦」て、またバクリですか…。…と思いきや、突然、平山幹事長から連絡が入り、「富里、両グルで新べらバクバクだっというから、ウドンセット縛りは無しにしたから!」だど。なんたるいい加減さ!

まあ気楽な感じで、晩秋の1日を楽しんで頂ければ幸いです。

というわけで、みなさんはこれを読んだが最後、その時点からナリーズ会員となる(ホントかよ!)。そして、みなさんには心より感謝とお詫びを申し上げたい。

来てくれてありがとう。そして、貴重な1日を、ごめんなさい。

(何で俺が謝ってんだ…。…っていうか、里もナリーズ会員なわけ!?) by 里ちゃん

へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける...

へら鮎

九隻

Monthly fishing magazine herabuna

No.493
Jan.2007

1

本誌オフィシャルサイト
 へら鮎 **NET**
 へら鮎ネット
<http://www.herabuna.jp>
開設!

注目新連載続々登場。

冬到来特集

豪快に釣るか。

NEO-HERA PRO LEAGUE 2006 総合チャンピオン戸井田祐一が仕掛ける、超攻撃型釣法!!

繊細に釣るか。

関西が生んだ「粘り」のトップトーナメンター上村恭生が魅せる、超繊細釣法!!

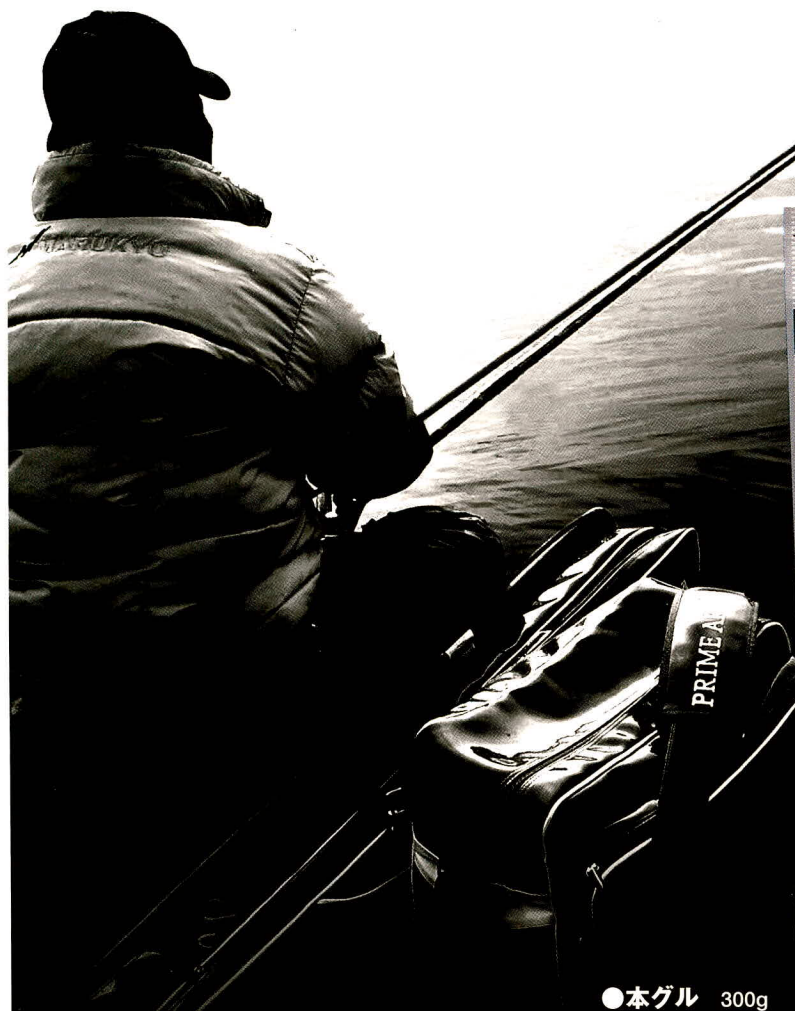
バラグル&ウドンセット

さらなる深淵を、「本グル」で狙う。

くわせ重視の本格派グルテン「本グル」。

その特長は、グルテン繊維がマッシュを抱え込んで、しっかりと持つこと。

だから、長尺の竿での深ダナ狙いにはもちろん、
沖打ちのバラケを付けたセット釣り、底釣りにも、抜群の威力を発揮します。
エサ持ちがいいから、安心してアタリを待てるうえに、誘いも効く。
しかも軽く、へら鮎の吸い込みのよさもダントツ。
厳寒期の食い渋りや、最深部を狙い撃つ釣りに、必携といえるでしょう。



●本グル 300g

丸 マルキュー株式会社

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
 合わせ 四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣場でエサに困ったら
 Eメール・ホームページ
<http://www.marukyu.com/>

マルキューホームページ内の「へら鮎天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。
<http://www.marukyu.com/> マルキューへら鮎メールマガジンも、お申込はこちらから。

釣れるヒント満載!!
 へら鮎天国

定価 1000円

本体九五二円

